

緊急事態下における理学療法士の役割を問う ～ World Physiotherapy Congress 2025に参加して～

2025年5月29日～31日にかけて開催された World Physiotherapy Congress 2025 において、「Physiotherapy in conflict and emergency settings (紛争および緊急事態下の理学療法)」をテーマにしたセッションに参加しました。本セッションでは、高齢者を含む脆弱な人々への支援を軸に、自然災害や武力紛争下におけるリハビリテーションの現状と課題について、熱のこもった議論が交わされました。



World Physiotherapy Congress 2025

まず重要な視点として強調されたのが、「自然災害 (earthquake など) = 自然要因による緊急事態」という認識と、「紛争 = 人為的要因による長期的・複雑な緊急事態」は、別の文脈で捉えるべきという指摘でした。災害は突発的で時限的なものだが、紛争は終わりの見えない混乱であり、被災地の人々が長期にわたり危険に晒されることとなります。実際に、ガザ地区、ウクライナ、大規模地震災害にも見舞われたミャンマーといった現在進行形の紛争地では、医療インフラが破壊され、リハビリテーションの提供どころか人命の確保すら困難な状況が続いています。

しかし、こうした場面においても理学療法士の存在は不可欠であります。セッション内では、「リハビリテーションは人道支援の“回復期”ではなく、“初動”から必要とされるべきである」と強く訴えられていました。にもかかわらず、緊急事態対応に特化した理学療法士の人材育成は、世界的に見ても十分に進んでおらず、臨床経験豊富な一般の理学療法士が、準備のないまま現場に投入されるケースも少なくないのが実情です。

教育面での対策として、大学などの教育機関が中心となり、「人道支援・障害・紛争地におけるリハビリテーション」に関する講義や実践演習を、学部教育に取り入れる重要性が語られました。特に大学などの教育機関にいる理学療法士こそが、その改革の起点となるべきで、臨床現場だけでなく、教育・制度・政策レベルでも“備え”が必要だと、ガザ地区からリモートで参加したスピーカーも強く訴えていました。

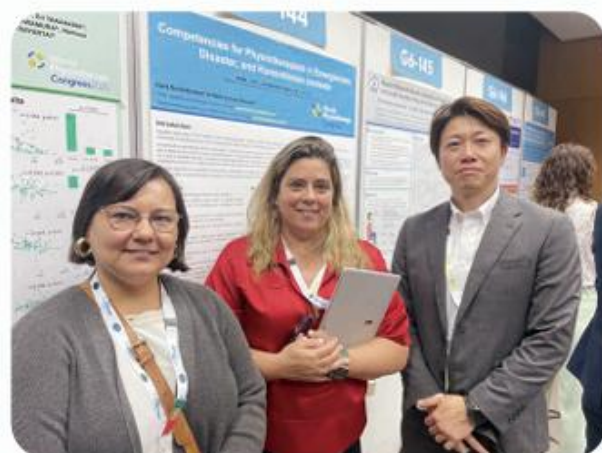
質疑応答では「この分野の理学療法を制度に位置づけるには、研究による可視化とエビデンスの構築が不可欠である」という意見も多数聞かれました。理学療法士の役割を正しく評価してもらうには、リハビリテーションニーズに基づいた資源計画、信頼性の高いデータ収集、そして各国の健康政策 (Physical Inactivity など) や災害・人道支援の枠組みに理学療法を組み込むための政治的な働きかけも求められます。

特に印象深かったのは、発言者の一人が語った “So we really do need to raise the sort of awareness of the research and to bring that out, because otherwise it's not going to take us anywhere, really.” 「私たち自身が変わらなければ、世界は変わらない」という言葉でした。このセッションでは、臨床家・研究者・教育者が国境を超えて集まり、それぞれの

活動報告 II 災害対策部

立場から課題を共有し、どう未来を切り拓くかを本気で語り合うことができました。そうした場こそが、グローバルな理学療法の可能性を広げる原動力になると確信することもできました。

日本にいる私たちも、こうした世界の動向から目を背けてはいけないように思います。災害大国である日本は、「自然要因による緊急事態」対応には一定の経験と体制が構築されつつあります。



ポルトガル・カスカイスを拠点に活躍される Carla 先生（左）と Maria 先生（右）

しかし、武力紛争や人道危機といった“越境型の課題”に対しては、まだ十分な議論や準備がなされていないのが現状ではないでしょうか。今こそ、国内外のネットワークを活用しながら、緊急事態下におけるリハビリテーションを「特別なもの」から「あたり前の支援」へと昇華させていく必要があると思いました。

緊急・災害・人道支援における理学療法の在り方に関心を寄せ、国際的な取り組みに尽力されています。

Carla 先生は、障がい者支援を目的とした地域リハビリテーション施設「CRID – Unidade de Fisioterapia」に所属し、臨床の現場から人道支援活動を実践されています。

Maria 先生は、教育機関「ESSAlcoitão」に所属し、教育・研究の視点から災害・緊急対応における理学療法の発展に貢献されています。WPC2025では、「緊急・災害・人道支援における理学療法士のコンピテンシー」に関する演題発表を行われました。